

みずほCustomer Desk Report 2021/12/02号(As of 2021/12/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.26
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.30	1.1330	128.34	1.3296	0.7126
SYD-NY High	113.63	1.1360	128.75	1.3352	0.7172
SYD-NY Low	112.68	1.1303	127.60	1.3263	0.7095
NY 5:00 PM	112.76	1.1319	127.68	1.3275	0.7108
NY DOW	34,022.04	▲ 461.68	日本2年債	-0.1200	1.00bp
NASDAQ	15,254.05	▲ 283.64	日本10年債	0.0600	1.00bp
S&P	4,513.04	▲ 53.96	米国2年債	0.5493	▲1.57bp
日経平均	27,935.62	113.86	米国5年債	1.1314	▲3.55bp
TOPIX	1,936.74	8.39	米国10年債	1.4029	▲5.17bp
シカゴ日経先物	27,430.00	▲ 245.00	独10年債	-0.3345	1.05bp
ロンドンFT	7,168.68	109.23	英10年債	0.8190	1.05bp
DAX	15,472.67	372.54	豪10年債	1.7300	▲2.00bp
ハンセン指数	23,658.92	183.66	USDJPY 1M Vol	7.88	▲0.30%
上海総合	3,576.89	13.00	USDJPY 3M Vol	7.50	▲0.20%
NY金	1,784.30	7.80	USDJPY 6M Vol	7.45	▲0.16%
WTI	65.57	▲ 0.61	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	218.393	▲0.79	EURJPY 3M Vol	7.82	▲0.05%
ドルインデックス	96.03	0.03	EURJPY 6M Vol	8.05	▲0.02%

【昨日の指標等】

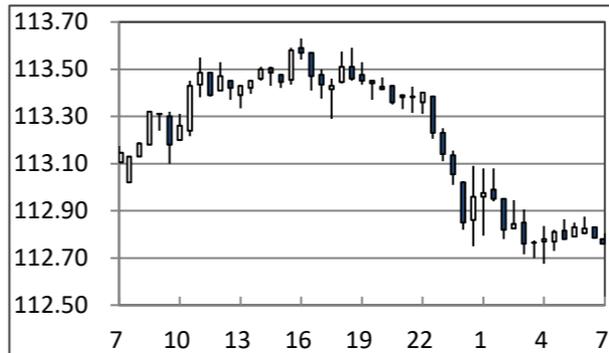
Date	Time	豪	米	Event	結果	予想
12月1日	09:30	豪		GDP(前年比)	3Q	3.9%
	22:15		米	ADP雇用統計	11月	534k
12月2日	00:00		米	建設支出(前月比)	10月	0.2%
	00:00		米	ISM製造業景況指数	11月	61.1

【本日の予定】

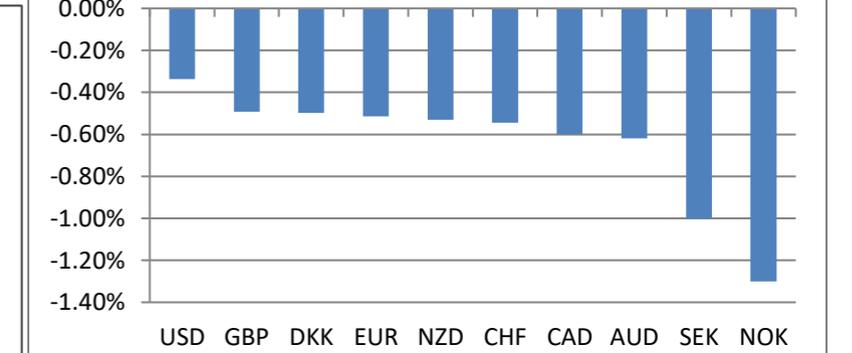
Date	Time	欧	米	Event	予想	前回
12月2日	19:00	欧		PPI(前月比/前年比)	10月	3.8%/19%
	19:00	欧		失業率	10月	7.3%
	22:30		米	新規失業保険申請件数	27-Nov	240k

東京	東京時間のドル円は113.30レベルでオープン。オミクロン株への懸念に113円前半まで下落するも、前日の米上院銀行委員会でのパウエル議長の議会証言で「インフレについて一時的との言葉を使うのをやめる時が来たようだ」、「テーパリング終了も2、3か月早めることを検討するのも適切」との発言が効派と捉えられる中でドル買いとなり、一時113.59まで上昇し113.58レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.58レベルでオープン。オミクロン株への不安感も広がったが、米ADP雇用統計を前に方向感に欠ける動きとなり、113.38レベルでNYへ渡った。(ロンドンタイムズ 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	113.38レベルでNYオープン。朝方はドル売り円買いが先行。米11月ADP雇用統計の雇用者数は予想を上回るが、市場の反応は限定的だった。その後、113円を割り込み、米11月製造業PMIの改定値の予想下振れも重しとなり、一時112.82まで下落。10時発表の米11月ISM製造業景況指数はほぼ予想通りの結果となり、一連の米経済指標発表が完了すると、113円付近まで買い戻された。米下院金融サービス委員会でのパウエルFRB議長の証言ではインフレを懸念した発言が伝わるも市場の反応は限定的だった。午後は米長期金利の低下を受けて113円台を維持できず、米国内の初のオミクロン株の感染が確認されたと伝わると112.68まで安値を更新した。その後、小幅反発するも米株がマイナス圏に沈む中、積極的にドル円を買い戻される気配はなく、結局、112.76レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.13台半ばで方向感無く推移。特段のヘッドラインが見当たらなかったが、欧州時間にまとまった買いが持ち込まれ1.1360まで上昇するも、直ぐに売りが入り1.1303まで反落。一巡後、1.1320付近で取引され、1.1317レベルでNYオープン。朝方はドル売りが進行し、1.1357まで上昇するも、海外時間高値(1.1360)付近では伸び悩み、1.1309まで反落。午後は米金利が低下するも、ユーロ円が軟調推移する中、1.1320付近で上値重く推移。終盤にかけては方向感が乏しくなり、結局、1.1319レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-113.50	1.1250-1.1360	127.00-128.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は終盤にかけて円高ドル安が進む展開。前日にパウエル議長がテーパリングの加速について言及したことで、東京市場はドル買いの流れが継続し、113円台でドル円は堅調に推移。NY市場に入ると、オミクロン株への警戒感からリスク回避の円買いドル売りの動きが強まり、112.76レベルでクローズ。本日のドル円は、新型コロナ関連の報道で引き続き上下する展開を予想。オミクロン株は未だ全容が見えず、本日も新たな懸念材料で、リスク回避の動きから円高に振れる展開には警戒したい。一方で今週のパウエル議長の議会証言を受けて、FRBの金融政策正常化が想定より早く進むシナリオが強く意識されており、米金利上昇観測からドルの下値もサポートされると予想。パウエル発言で注目が高まる米金融政策に関して、本日はFRB高官の多数の講演が予定されている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・鈴木